成人代表謝辞

松本紘明さん

本日は、成人を迎えた私たちの門出に対し、このような盛大な式典を催していただき、誠にありがとうございます。

また、お祝いや激励のお言葉をいただきました町長をはじめ、ご来賓の方々、さらには、多数ご来席いただきました皆様に、新成人を代表し、心より感謝申し上げます。

一昨年の東日本大震災から、もう2年が経とうとしています。家族と一緒に生まれ故郷を離れ、色々な人とも離ればなれになってしまいました。テレビ越しにニュースになる広野町を見て不安になる日々を送ってきました。一年が経ち、徐々に町民が戻ってきて、こうして広野町で成人式を迎えることができ、また昔の仲間に会えることをうれしく思っております。

私は今、仙台で測量を専門に勉強しています。測量と聞いて、ピンと来ない方も多いと思いますが、測量とは道路を造ったり、橋やダムなどを建設する際に、必ずやらなければならない仕事です。主に、土地の境界線を測ったり、道路の設計をする際に必要となる土地の高低差や位置関係を調べます。今回の震災でも、壊れた道路の修復や地盤沈下した土地の高低差などを測り、目立つ仕事ではありませんが復興の土台となっていると考えております。

私は、春からコンサルタント会社に就職し、福島の復興のため貢献したいと思います。資格を取り、様々な経験をして自分の能力を高め続けられる大人になり、各地で震災が起きた際に、現地で必要とされる人になりたいと考えております。

本日、私たちが、大人としての第一歩である成人式を迎えることができたのも、震災後に、一緒にいられるありがたみを感じることができた両親と家族、そして間違ったことをした時に叱ってくれた先生方や広野町の復興のために、より一層、一丸となれた地域の方々の支えや応援があったからだと改めて実感しています。多くの人々への感謝の気持ちを忘れずに、今後は成人となった私たち一人一人が、あらゆる困難に立ち向かい、壁を乗り越えながら目標に向かって努力することによって、地域や町の再生に役立つものと考えております。

20歳を迎えたばかりでまだまだ未熟者ではありますが、晴れの門出を迎えた今日、成人としての自覚を持ち、責任ある社会人として歩んでいくことを誓い代表あいさつとさせていただきます。

猪狩健司さん

本日は、私たち新成人のために、このような式典を催して頂き、誠にありがとうございます。

また、お祝いや激励の言葉を頂きました、山田基星町長をはじめとするご来賓の方々、ご出席いただきました皆様に、新成人を代表し、心より感謝を申し上げます。

一昨年の3月、私たちにとって一生忘れることのできない東日本大震災により広野町も大きな被害を受けました。そんな中、こうして広野町で成人式を行うことができたことに、心から感謝を申し上げます。

震災を経験し、私は改めて今までの生活の幸せさを感じました。何気なく、当たり前だと思っていた毎日が当たり前ではなくなっていく現実が目の前にあり、何をすればいいのかも分からず、ただ時が過ぎるのを待つばかりでした。そんな時、社会全体が一丸となり、被災地のために様々な行動を起こしてくれている事を知り、言葉にならない思いが込み上げてきました。感謝しても、しきれないぐらいの、人と人とのつながりを感じました。

今回の経験から学んだ事は数多くありました。その事を私たちの次の世代へ引き継いでいくことも、成人を迎えた私たちの役目の一つだと思っております。

そして、今日成人を迎えることができたのは、私を育ててくれた家族、ご指導をしてくださった先生方、互いに助け合い、喜怒哀楽を共にしてきた、ここにいる新成人の仲間たちの支えがあったからこそだと思います。

これから成人としての一歩を踏み出すにあたり、今までの様々な人とのつながりに感謝し、皆それぞれが自分で考える成人の道を進んでいくことを誓い、成人代表謝辞とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。